

【記録】 令和5年度(2023年度) 第3回北海道拓北養護学校「学校運営協議会」

1 日 時 令和6年2月28日(水曜日)10時00分～11時15分

2 場 所 北海道拓北養護学校 会議室

3 出席者 拓北興産社町内会 会長 菊池健一様
北海道拓北養護学校 PTA 会長 永沼秀美様
北海道教育大学札幌校 准教授 池田千紗様
NPO 法人自立支援センター歩歩路副理事長 高橋くに子様

4 対応者 北海道拓北養護 学校長 仲條正輝
副校長 鴻江康人
教 頭 藤原裕美
事務長 諏訪文重
主幹教諭 新海真由美



【内 容】

1 開会(副校長)
2 説明①(副校長)
※資料あり



2-説明②(主幹教諭)
※資料あり

1 校長挨拶
2-①令和5年度 学校運営協議会総括及び令和6年度の活動方針について
※資料に沿って説明
・今年度の学校運営協議会を振り返り、新たに学校教育目標の設定と合わせて取組を進めてきた。第2回の中で、運営協議会の取組について熟議し、今後に向けた大変有意義な内容となった。今回は、本校のコミュニティスクールについて、今年度確認してきたことをおさらいし、次年度の取り組みについてを再確認していきたい。
〔質疑応答〕
・今年度の成果について、地域や行政関係機関との連携の具体を聞きたい。
→肢体不自由父母の会の成人を祝う会に校長出席
地域交流校、地域(拓北盆祭り等)の行事への管理職参加
その他、各教育活動へのボランティア、町内会の会合への出席等
一部教育活動への支援と、授業支援の再開(地域交流・学校間交流の再開(地域交流、学校間交流の再開等))
2-②令和5年度 学校評価について
※資料に沿って説明
・今年度の学校評価の結果から、校内それぞれの取り組みを振り返り、課題となる事項については、次年度の教育活動におけた手がかりとして、全校で確認していきたい。また、委員の方々からのご意見等をいただき、全校教職員で共有していきたい。
〔質疑応答〕
・教育活動の積極的な情報発信についての具体について聞きたい。
→学校便り、学部・学年通信等は家庭配付だけではなく、今年度もHPや旧 Twitter などの SNS を積極的に活用して発信してきた。また、Google Classroom を活用して月予定のやりとり、学年通信の発信、日々の学習活動の様子を写真掲載してお伝えしているところもあった。
・全校的に発信できているのだろうか。
→学部・学年で取り組みはばらつきがあったのは次年度への課題である。また、ICT を活用した教育活動については、全校の研修として実践事例を交流することもできた。Google Classroom については、保護者とのやりとりも含め、校内でのルールづくりなど整理を進めている。

3 令和5年度 学校経営総括及び令和6年度 学校経営について(校長) ※資料あり 4 学校運営協議会委員からの御意見等	3 令和5年度 学校経営総括及び令和6年度 学校経営について ※資料に沿って説明 ・年度末反省と学校評価(自己評価をもとに)から、本質的な働き方改革の理解について、心理的安全性=プレッシャーのない働き方ではないこと、新しい学校教育目標の中にある～3つのひらく～から、今年度の教育活動を振り返り、R6の学校計につなげていきたい。R6では、子ども達の心身の状況と共に、メンタルケア(心の元気)も大切にした教育活動の推進に努める。 [質疑応答] ・次年度の公開授業について、学校関係者以外の人も参観できるのか。 →北肢研の授業公開については、関係者に確認しお伝えできるようにする。 個人的には、授業は学生も含めて是非参観してもらいたいと思っている。 4 学校運営協議会委員からの御意見等 ・学校経営の柱となっている、肢体不自由教育のノウハウについて、使用しなくなった車椅子などを、地域の学校に寄贈して、日常的に地域の子も達が車椅子に触れることができるようになったら良いのでは?学校の取り組みとしてどうか? →過去には、西小学校との学校間交流で、来校した児童が車椅子体験ができるような取り組みがあった。また、教育大の学生に向けた基礎実習でも、車椅子や装具の説明を毎年している。飛んでけ車椅子の会への寄付も、今年度の再開された。 ・豊成養護学校から教育大へ車椅子の寄贈がある。しかし、子どもサイズの車椅子が多く、学生が体験できるサイズのものが無い。大学でも、実習や小さい子に対応したサイズの寄贈があると嬉しい。そのようなニーズは多いと思う。 →保護者は新しくしたときに、古い車椅子の処分に困っている。使用してくれる人がいるのであれば役立てたい。HPに『車椅子譲ります』のような発信はできるのかな・・・?検討してみる。 ・障害のある方々の災害時の対応が遅れていると聞き、危惧している。様々な災害時の対応について、地域と共に迅速な対応ができるよう、一緒に考えていけるようになると良い。そのためにも、日頃から学校と地域・関係機関のコミュニケーションを大切にしていきたい。
 5 閉会(副校長) 閉会の挨拶(校長)	また、職員のメンタル保持について、職員間のコミュニケーションも大切にして児童生徒の教育活動にあたっていただきたいと感じている。 →同僚性の構築に努め、次年度またその取り組みと成果について共有していきたい。 ・学校と地域のためにできることを、次年度も提案できるようにしていきたい。 →次年度は活動の提案の中で、地域での具体的な取り組み、繋がりを大切にしていきたい。 ・PTAで子ども達と一緒に取り組んできている花壇作りについて、次年度はぜひ地域の方々とも一緒にやってけると良いと考えている。 →実現可能だと思う。ぜひ実現に向けて計画していきたい。 [校長挨拶] いただいた意見については、学校経営、教育活動に反映していく。いただいた意見については、そんなこと、こんなこともできるのか・・・と大変に参考になった。次年度も、地域での存在感のある学校づくりに向けて、学校運営協議会の皆様の協力をいただき進めていきたい。今年度はありがとうございました。次年度もよろしくお願いいたします。